

上灘地区 教育振興会だより



第 34 号
令和 6 年 3 月 15 日 発行
上灘地区教育振興会
事務局 上灘小学校内

令和 5 年度活動報告

- ① 教育懇談会の開催 11月18日
テーマ「上灘教育と鳥取県立美術館」
講師 梅田雅彦 鳥取県立美術館整備局長
- ② 地域ぐるみによる小・中学生の健全育成
○東中学校（上灘地区）保護者教育懇談会 6月
・うわなだ桜まつりへの協力と参加 3・4月
万燈設置・撤去作業に PTA・生徒が参加 112名
○上灘地区社会福祉協議会との共催事業 中止
- ③ 上灘地区青少年健全育成協議会との共催事業(開催日は下記に記載)
・自然を楽しむ会(69名)・上灘地区青少年スキー教室(24名)
- ④ 教育諸条件の整備 ・花壇整備 ・花の苗 12月
- ⑤ 関係諸団体との連携
うわなだ未来塾の実施(92名) 11月18日
- ⑥ 上灘小学校応援隊の充実について 80名
- ⑦ 子どもたちを守る活動への協力 ・地域安全パトロール
・うわなだ110番 協力店募集・ステッカー配布
- ⑧ 写真集「うわなだ 平成から令和へ」の発行
- ⑨ 会報第34号の発行 3月
- ⑩ その他 通学路の除雪など 1月

「自然を楽しむ会」「雪遊び」事業(活動)報告

上灘地区青少年健全育成協議会会長 山口大助

7月23日(日)大山赤松の池を拠点に「われらわんぱく探検隊!アウトドアを楽しもう♪」と題し自然を楽しむ会を企画しました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施直前に中止となりましたが、今年度は予定通り実施することができ、子ども達の笑顔やカヌーを楽しむ姿を見ることが出来ました。お昼ご飯のカレーライスも美味しかったですね♪

さて、「スキー教室」は、2月4日(日)に4年ぶりに恩原高原スキー場にて開催することが出来ました。

当日は雪不足の心配がありましたが何とかスキーが出来るほどに雪は残っており、思い思いにスキーやスノーボードを楽しみました。

午前にはスキーを初めて経験する子ども達もおり、指導者として同行して下さった地域のボランティアの方に指導していただきました。はじめは恐る恐る滑る子や転倒ばかりして上手く滑れない子もいましたが、午後からは1人でも滑れるほどに腕を上げ、寒さを吹き飛ばすほどの勢いでウィンタースポーツを存分に楽しみました。

今回の夏・冬の活動を通し、大自然の中での遊びの楽しさや忍耐力を身につける事ができました。また、集団行動の中で親子や子ども達相互の連帯感も培うことが出来たと思います。

ご協力いただきました約員の皆様、地域の皆様、ご支援下さった各団体の皆様、有り難うございました。



ふるさと「上灘」に対する愛着と誇りを

上灘地区教育振興会 会長 福井伸一郎

上灘地区教育振興会は、上灘地区の教育がより充実・振興し心豊かな社会生活を営むために、上灘地区住民が協力して教育的課題を解決していくことを目的として結成しています。

そのためには、上灘地区の自治公民館や上灘コミュニティセンター、学校、PTA、青少協などそれぞれの団体・組織が連携協力して活動することが大切です。

その具体的な場の一つが教育懇談会です。それぞれの団体が一堂に会し上灘の子どもたちの教育を語ることで、そして同じ方向を向いて活動することを共通理解する場です。昨年、今年と上灘にある大きな財産である大御堂廃寺跡と鳥取県立美術館について学びました。

また、郷土教育の素材として、地区振興協議会・社会福祉協議会の支援をいただき、「上灘に伝わる話」DVD作成に続き、平成から令和と上灘の写真集を発行しました。ふるさと学習に役立ててもらおうと上灘小学校と東中学校に寄贈しました。

写真集「うわなだ 平成から令和へ」発行



写真集
うわなだ 平成から令和へ

日本海新聞記事 2月14日

上灘地区の文化や歴史を記した「うわなだ子ども風土記」が制作されて30年が経過し、昭和47年から始まった上灘地区土地区画整理事業以降、上灘地区は大きく変わりました。それを記録し後世に伝えていくことは、今に生きる私たちの務めであり、子どもたちに良い教材となります。

そこで、私たちの郷土「上灘」に対する愛着と誇りを育てるために、平成から令和への上灘地区の移り変わりを記録した写真集「うわなだ 平成から令和へ」を作成しました。

上灘地区の12の公民館、各団体の活動など430点の写真で紹介をしています。

本(A4版カラー 110ページ) 1,000円(税込)
DVD版(※受注生産) 500円(税込)

※申込は うわなだコミュニティセンターへ

令和5年度 教育振興会 教育懇談会 報告

11月22日(水)、「うわなだの郷土教育」をテーマに教育懇談会を開催し、34名が参加し、「鳥取県立美術館」について考えました。

- ① 上灘小学校5年生の代表児童が、『「鳥取県立美術館ってどんなの？」～全国の美術館と比べてみよう～』というテーマで学習したことを発表しました。鳥取県立美術館の開館を心待ちにする子どもたちの様子が感じられました。
- ② 「理想の倉吉市ジオラマ」を制作した東中学校美術部員代表生徒の発表。このジオラマは、東中学校美術部員と児童クラブ登録児童(主に3・4年生)が夏休みに制作し、現在も上灘コミュニティセンターに展示されています。
- ③ 東中学校加嶋慎一校長先生の東中学校の取り組みの説明。生徒がコミュニティセンターの清掃活動など、地域貢献活動を行った様子を聞き、ふるさとを大事にする心が育まれていると感じました。
- ④ 鳥取県教育委員会事務局美術館整備局長 梅田雅彦氏の、「鳥取県立美術館と上灘教育への活用」という演題でご講演をいただきました。「県立美術館は開かれた美術館で、みなさんと一緒に美術館づくりをしていきたい。上灘地区は『県美所在地』なり、お迎えやおもてなし、交流の場である」というお話から、地域としての役割について考える機会となりました。

参加者からは、「美術館を魅力あるものにしてもらい、たくさんの方に来館してもらえる美術館にしてほしい」「地域で盛り上げていくことが大切である」といった感想があり、上灘地区住民としての県立美術館への期待と使命感を感じる会となりました。



地域を再発見！「うわなだ未来塾」

上灘コミュニティセンター 主事 山本 美保子

11月18日(土)、7回目を迎えた「うわなだ未来塾～クイズラリーで上灘探検をしよう♪～」を上灘小学校と連携し開催しました。

今年は、大御堂廃寺跡・県立美術館の建物外周・県立厚生病院・倉吉線上灘駅跡地・上灘小学校発祥の地でもある勝宿神社の探検。今年の県立美術館探検は、内部工事中のため外周を探検し、コンクリート床面に自分の思いや名前を書きました。2025年春に開館の美術館に、人には見られないけど秘密の自分のサインがある。それを想像すると、ワクワクしますね♪

次に、人気No.1の県立厚生病院。ヘリポートから見る上灘地区の360度のパノラマ写真。大人気の手術室、図書館と普段は入ることの出来ない場所を探検しました。

ゴール地点の上灘コミュニティセンターで焼きそばを、地域の大人たちと一緒に焼いて食べました。外でみんなと一緒に焼く焼きそばの味は格別です。中学生になれば、「うわなだ桜まつり・中学生コーナー」で作るんです♪「上灘」がテーマの川柳は、後日学校で行いました。

川柳は、感動させられるものやクスッと微笑ましいものまで様々。川柳は上灘コミュニティセンターに展示しています。

また、上灘小学校3・4年生と倉吉東中美術部の生徒が倉吉市のジオラマを共同制作し美術館500日前イベントにも参加しました。



東中学校のめざすもの 東中学校長 加嶋慎一

東中学校の校訓は「躍進(自学・自主・共生)」です。これは、生徒が自ら学び、考え、みんなと協力して大きく発展する姿を表しています。

最も大切にしてきたことは「全ての場面で生徒に『意味』と『必要性』を伝え、『納得』を伴う教育活動にすること」です。「何のためにするのか」「なぜ必要なのか」「そうすることで、どのような良いことがあるのか」「将来、何の役に立つのか」を教師が丁寧に説明し、生徒が『納得』し、生徒の自主的な活動を促しました。



「子どもは宝」その思いは家庭・学校・地域も同じです。「大切に」とは「何をどのようにすることなのか」。子どもに関わる大人が本気で考え直す必要があると感じています。東中は本気で生徒と向き合い、「生きる力」を身に付けるよう取り組んでいます。躍進！東中！！

倉吉東中PTA上灘小学校区支部会長 常盤 誠

「コロナ明けを迎え、新たなスタート」を念頭に置き前向きな活動ができた1年でした。

まず、うわなだ桜まつりの実施された事で東中学校PTAも【焼きそば】の露店として参画しました。提灯準備・調理・販売・撤去作業と多くの中学生と保護者の方に協力を頂きイベントも成功させることができました。

次に、コロナ過の影響で様々な事が縮小を余儀なくされていた近年。PTA組織も例外ではなく、たくさんの意見・要望を基にPTAの体制整備も行いました。

新体制となった令和6年度東中PTA上灘小学校支部の活動についても、引き続き学校・地域の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

鳥取県立美術館プロジェクト学習

『「鳥取県立美術館ってどんなの？」～全国の美術館と比べてみよう～』と、上灘小5年生が取り組みました。

- 全国の美術館の特徴をまとめたポスターフレームの作成
 - ・全国49の美術館へ、パンフレットの送付依頼と各館の特徴を尋ねる手紙を送付
 - ・各館のパンフレットや特徴をまとめたりしてパネルを作成
- 全国の美術館と比べ、鳥取県立美術館の質問づくり
- ポスターフレーム発表会
 - ・鳥取県立美術館整備局長と意見交換
- 「上灘教育懇談会」で発表
- パネル展の開催



- ・ショッピングセンターパープルタウン
- ・鳥取県立美術館開館500日前イベント

この実践記録をまとめた論文が、本年度の鳥取県教育実践論文最優秀賞となりました。